REBORN SEMINAR ／ 2026 SUMMER

復活。

—— 天中殺は、天からの贈り物。　　石田 久宗（kyuso）

7.18 大阪　新大阪駅前／14:00–16:30 | **7.19 名古屋**　名古屋駅周辺／18:30–20:40 | **7.20 東京**　渋谷駅周辺／14:00–16:30

WHY ／ なぜ、いま

なぜ、いま「天中殺」なのか。

100日の行を終えて、最初に渡したいものを一つだけ選ぶとしたら —— 迷わず、これだった。理由は、四つある。

01

極めて、効果的だから

天中殺の過ごし方ひとつで、人生の流れが変わる。

02

誰にでも、訪れるから

12年に2年。例外なく、全員に平等にめぐってくる。

03

世間では、怖がられているから

「動くな」「不幸が来る」と刷り込まれている。でも、それは本当だろうか。

04

すべてのサイクルの、基軸になるから

宇宙にも、世の中にも、人生にも、同じ“継ぎ目”がある。その鍵が、天中殺だった。

THE TIMES ／ いま、なにが起きているか

地図が、描き変わっている。

01

物価の上昇

同じ給料で、買えるものが静かに減っていく。

02

円の下落

「日本にいれば安心」という前提が、揺らいでいく。

03

AIと、仕事

昨日までの“専門性”が、今日から無料になる時代。

04

世界の情勢

遠い国の出来事が、翌月の家計に届いてしまう。

こういう時代に必要なのは、予言ではない。自分の現在地を知るための「座標」だ。—— その座標の、いちばん深いところにあるのが、天中殺だった。

SCALE ／ 世界を、三つのサイクルで見る

60・15・12。

60	15	12
宇宙	**世の中**	**人生**
還暦で一巡。 二度目の人生が、はじまる。	技術が変える、時代の周期。 IT → スマホ → AI → …	ミクロな人生の周期。 —— うち2年が、天中殺。

大きな天の巡り（**60**）の中に時代の巡り（**15**）があり、その中をあなた自身の巡り（**12**）がめぐる。
どのサイクルにも“継ぎ目”がある。その継ぎ目こそ、**天中殺**。

人生の12年サイクルには、必ず2年の**調整期間**がある。それが天中殺だ。ずっと走りっぱなしでいると、人はどこかで空中分解する。だから天が、スピードを落とす時間を用意した。怖いことは何ひとつない。学びと調整に集中する —— それだけの2年だ。
運命学は、人を脅すための道具ではない。転ばぬ先の杖でもない。—— 転んでも大丈夫、という“セーフティネット”だ。

FORECAST ／ 時代の周期は、15年

2026 → 2040。 いま始まった15年の、地図

IT、スマホ、そしてAI。世の中は15年で入れ替わってきた。いま始まった15年は、2026年から2040年まで。 ここに描くのは予言ではない。いまの流れから引いた、ひとつの見立て。**詳細は当日。**

「作る」が、ゼロに近づく

文章・絵・設計・分析が安くなるほど、安くならないもの —— 身体・場・信頼・責任 —— が値段を持つ。

「持つ」から、「持たない」へ

家・車・道具、そして職業。所有は固定費ではなく、選べるものに変わっていく。

「暇」が、増える

失業ではない。意味のある忙しさが減る。14年かけて人が向き合うのは、手持ち無沙汰だ。

2026 ——— 2040

2026 – 2029
侵食

—— AIが「道具」から「働く相手」に変わる

—— 消えるのは職業ではなく工程。要約・翻訳・調整から溶ける

—— 画面を見る時間が、静かに減りはじめる

—— 作れるものは安く、土地・エネルギー・人の手は高い

—— 「誰が言うか」「本当にやったか」が値段になる

2030 – 2034
分水嶺

—— 衣と食はほぼゼロへ。住だけが残る

—— 働かなくていい人が、先に一部だけ現れる

—— 便利さの代償で、行動はすべて残る —— 誰がその記録を持つか

—— 老いが手入れの対象に。最後まで残るのは、人の手

—— 決定権が、世代交代する

2035 – 2040
定着

—— AIは空気になり、話題にすらならない

—— 職業から「役」へ。一生に三度も四度も変わる

—— 不調の多くは管理できる。それでも幸福感は比例しない

—— 街の中心が、働く場所から会う場所になる

—— 「残さない」という選択が、価値を持ちはじめる

打席数の話 ／ お金の稼ぎ方

ヒットの確率が1割でも、10回打席に立てば1本は当たる。かつては1打席に立つだけで、お金も時間も人手も要った。それがいま、ほぼゼロになった。だから当てにいくのではなく、打席を増やす。10回試して1本広がれば、それでいい。

- 動画を1本あげる —— 撮影はスマホ、編集はAI
- 記事を書いて出す —— note、ブログ、X
- 電子書籍を1冊出す —— 印刷も在庫もいらない
- アプリを1本つくる —— AIに書かせ、サーバー代ゼロ
- 音源を配信に載せる —— 世界中の配信サービスへ
- 教室を一度だけ開く —— 会議室を数時間、告知はSNS
- 在庫を持たずに売る —— 注文が来てから、つくる
- 人に会いにいく —— 移動費のほかは、いらない
- やめてみる —— 空いた時間が、次の打席になる

稼ぎ方が変わったのではない。打席の値段が、変わった。

2040年は、たぶん静かだ。生存は解決し、意味だけが残る。
ただ、この15年を走りっぱなしで抜けられる人はいない。走り続ければ、いつか空中分解する。だから12年に2年、誰にでも調整の時間がめぐる。それが**天中殺** —— 次を走り切るために、天が用意した2年だ。

AI ／ 打ち出の小槌

AIは、四次元ポケットだ。

専門性が、外に出た。設計も法律もデザインもコードも、聞けば返ってくる。アイデアと現実のあいだの距離が、ほぼ消えた。**思いついたことが、その日のうちに形になる。**

その一

アイデアが、即お金になる

知っていることが、そのまま商品になる。noteでノウハウを売り、年3千万円の広告費で3億円を売り上げる ── そんな例も出てきた。在庫も店舗も、いらない。

その二

自分だけの道具をつくる

たとえば自分の売買ルールを、自分の手でシステムにする。人に任せるのでも既製品を買うのでもなく、自分専用に。個人でできる時代になった。

その三

帰ってから、やってみよう

まずClaudeかChatGPTに「○○みたいなアプリを作って」と言うだけ。動く姿を見た瞬間、発想がふくらむ。そうやって作ったのが次のページの五つ。本当は、もっとやばいのも作っている。

SIX TYPES ／ あなたは、どの天中殺か

天中殺は、6つ。

当日、QRコードで日干支を出せば、すぐにわかる

これは“当て物”ではない。いまの自分はどうか ── そう考えるための入り口だ。今回はとくに **金運**。6つそれぞれに、お金の流れを引き寄せる一手がある。

子丑

家系・先祖

金運の一手 ── 墓参りと実家の掃除。ご先祖に還したお金は、めぐって返ってくる。家のために使う出費を惜しまない。

寅卯

兄弟・仲間

金運の一手 ── 一人で抱えず、対等な仲間と組む。ただし貸し借りはしない。稼ぎは「割り勘」ではなく役割で分ける。

辰巳

仕事・社会

金運の一手 ── 肩書きではなく、自分の看板で立つ。組織の中でも「自分の名前で呼ばれる仕事」に時間とお金を寄せる。

午未

子供・未来

金運の一手 ── 次の世代に使う。教育・後輩・子どもへの投資。遠い計画より、いま目の前の一歩に張る。

申酉

配偶者・つながり

金運の一手 ── 財布を人任せにしない。そのうえで、人と会うためのお金を削らない。縁が入口、お金は後からついてくる。

戌亥

親・目上・精神

金運の一手 ── 見えないものに使う。学び、信仰、供養。目上に可愛がられる作法を身につけると、流れが一段変わる。

TENCHUSATSU — BASIC

天中殺とは？ ── はじめての方へ

12年に2年めぐる「天干が消える時間」の基本を、やさしいところから解説しています。予習に、復習に。

ishidahisatsugu.com/philosophy/basic/tenchusatsu-towa.html

HOW TO USE ／ 待つ時間では、ない

天に向かう習慣ほど、よく効く。

耐えて過ごす時期だと思われている。でも、逆だ。天干が消えるこの時期は、世間とのつながりが薄くなるぶん、天との回線がひらく。

壱

大祓祝詞・光明真言・
般若心経を唱える

弐

家を、徹底して
掃除する

参

思いを、書き出す
（ジャーナリング）

四

ご先祖のことを、
ただ思う

派手なことは、ひとつもない。でも、なぜ効くのか ── その理屈を知ると、2年の意味が変わる。

TAKE HOME ／ その日かぎりに、しない

手元に、残す。

壱　あなたの日干支と、天中殺

QRコードで命式を表示。日干支と、そこで決まる天中殺を、手元に書き留めて持ち帰る。（スタッフがおそばでお手伝いします）

弐　守巻物

困った時にだけ、開ける巻物。それまで閉じておく。その制約こそが、お守りとしての力になる。開封した際は、必ずその内容を実践すること。

参　天中殺の、活かし方

唱えること、掃除、書くこと、ご先祖を思うこと。家に帰ってからも続けられる、自分なりの習慣。

TOOLS ／ 持ち帰って、使う

五つの、道具。

スマホでQRを読み取るだけ。登録不要・無料

セミナーは一日で終わる。でも、調整の2年はそのあと続く。ここに置いた五つは、その時間を「待つ」から「仕込む」に変えるための、手元の道具です。

MEISHIKI

命式

生年月日を入れるだけで、あなたの命式が出る。まず最初に開いてほしい一枚。

ishidahisatsugu.com/philosophy/meishiki.html

ZENSEI READING

前世リーディング

いまの自分の“続き”が、どこから来ているのかを読む。当てるためではなく、別の角度から自分を眺めるために。

ishidahisatsugu.com/philosophy/zensei-reading.html

ANGEL

天使を派遣します

21日間、ひとつの習慣を続けるためのアプリ。12種類の天使から、いまのあなたに合う一体を派遣する。

ishidahisatsugu.com/tenshi.html

PARALLEL JUMP

世界線ジャンプ

「どうせ大丈夫」な自分は、すでに別の世界線にいる。ブレーンワールド仮説を下敷きに、そこへ移る手順を体験する。

ishidahisatsugu.com/parallel-jump.html

FUUKI HAPPOU

富貴八法（鉄壁）

願いを、8つの段階に分けて現実まで運ぶワークブック。信念のゲートを、一つずつ通していく。

ishidahisatsugu.com/teppekibeta.html

BENEFITS

この一日で、こう変わる。

01　時代と人生を俯瞰して、下半期の一手が打てる
02　天中殺の2年を、待つ時間から「仕込む時間」に変えられる
03　自分の本質がわかり、人との相性・距離が見える
04　物価・円・AI ── 変わる時代のお金と仕事の流れに、逆らわず乗れる
05　守巻物と新しい力という、一生もののお守りが手に入る

さあ、あなたの復活へ。

地図が描き変わる時代でも、自分の座標さえ分かっていれば、迷わない。
2026年下半期を走り抜けるために、絶対に知っておくべきことを ── この一日で。

大阪 7.18（土）新大阪駅前 14:00–16:30 ／ 名古屋 7.19（日）名古屋駅周辺 18:30–20:40 ／ 東京 7.20（月・海の日）渋谷駅周辺 14:00–16:30

石田 久宗　kyuso　　ishidahisatsugu.com